平成３０年度が始まりました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all.　№128

＊エイリョウ・アラカルト　「亥」

新たな年を迎え、生徒・職員ともに、実り多き一年となるよう更に精進してまいります。今後とも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

いよいよ、慣れ親しんだ「平成」が最後となる節目の年を迎えました。一人一人が様々な感慨に浸りながら、今年最初の一歩を踏み出したことでしょう。

３年次生は、進路目標実現のため、間近に控えた入試に向けて必死で勉強しています。２年次生は、既に９日からの勉強合宿で弱点科目の克服や応用問題に挑戦してきました。１年次生は、長期休業中の課題学習を整理をしながら、将来を真剣に考え始めています。

それぞれの時期には「やるべき大切な取組」があり、それを積み重ねたところに、自己の将来が拓けます。生徒諸君には、「日の出」のように明るい人生を歩んで欲しいものです。

今年も、拙筆で恐縮ですが、このコーナーを使って「教育活動の一端」を紹介していきますので、ご笑覧願えれば幸いです。

All for one, and one for all.　№129

H31. 1. 9～11　「勉強合宿」

２年次生が国立大雪青少年交流の家で、２泊３日の勉強合宿を行ってきました。今年度は１００名程の参加希望者があり、３日間勉強漬けの時間を過ごしてきました。

勉強合宿の目的は、共同生活の中で互いに切磋琢磨し、自主的な「学ぶ習慣」を身につけること、規則正しい生活をする中で行動の「リズム」を養うことが主なねらいです。

２年次生は、数ヶ月後には最高年次となります。つまり、１年後の今頃には自分の進むべき道が決まっているわけです。悔いの残らないよう、「いま」という時間を有意義に過ごして欲しものです。

気をつけなければならないのは、勉強合宿に参加したことだけで満足してしまうことです。受験は、わずか３日ばかりの勉強で勝負できるわけがありません。

大切なことは、この機会で身につけた習慣やリズム、モチベーションを継続することです。それができてこそ、初めてこの勉強合宿の意義が生かされます。１年後には、大きく飛躍した自分と出会えるでしょう！

All for one, and one for all.　№130

H31. 1.15　「国際文化交流会」

韓国水原市からの留学生と、通算３回目となる国際文化交流会を実施しました。今年度

で２年目を終えるこの取組は、グローバル教育の一環として行っているものです。会を重ねるごとに、生徒の振る舞いにも「自然さ」が生じ、積極的に身振り手振りを交えながらコミュニケーションを図っていました。

最近では、海外短期派遣研修への希望者も増えており、諸外国の皆さんとの文化交流は大きな刺激となっています。

今回の訪問団は１７名と、例年より少ない人数となりましたが、本校からは、生徒会、国際クラブ、海外短期派遣研修参加生徒、放送局、吹奏楽局、書道部、有志と実に多くの生徒が参加していました。

互いの伝統や文化を尊重し合い、笑顔で交流を満喫する若者の姿に、明るい未来が垣間見られました。

All for one, and one for all.　№131

H31. 1.28　「英語力向上事業成果発表会・第２回講演会」

グローバル教育の一環として実施している指定事業「英語力向上事業」の成果報告会を１・２年次生５４７名を対象に行いました。ＡＬＴをはじめ、市内及び近隣の英語の先生方も見守る中、２０名ほどの生徒がオールイングリッシュで取組の成果を報告しました。

パワーポイントを併用しながら報告された内容は、昨年、旭川駅と旭山動物園で実施した、外国人観光客の皆さんへのガイド体験です。最初は戸惑いを感じながらも、継続していくうちに英会話によるコミュニケーションが上手くとれるようになっていく過程がよくわかりました。やはり何事もチャレンジ精神が大切ということでしょう。

後半は、旭山動物園園長の 坂東 元 氏をお招きし、講演会を開催しました。人間は、自分たちの生活や利益のために、多くの絶滅危惧種を生み出しています。動物たちの生態系が崩れることは、すなわち人類の生存にも大きな影響を及ぼすことを忘れているかのようです。旭山動物園では以前から絶滅危惧種の生態を少しでも維持できるよう、海外に向けて積極的に支援を続けています。

「いま私たちにできることは、何なのか。」それを考えるヒントを沢山いただきました。同時に、ここにも世界的な視野で、物事を大局的に見、考える力が必要なことがよくわかります。これからの時代に生きる上で、グローバル的な視野を持つことは必須です。

All for one, and one for all.　№132

H31. 1.28　「Ｕ－１８未来フォーラム事業」

平成２８年度から３年間にわたって実施してきた「Ｕ－１８未来フォーラム事業」の報告会を、管内の英語の先生方を対象に実施しました。この事業は、生徒が国際的な視野を広げ、コミュニケーション能力を高めることをねらいとし、ＩＣＴを活用して海外との交

流を行うものです。

本校では、英語の授業を活用し、ニュージーランドの高校生と交流しました。語学力や国際理解への意欲向上という点では、とても良い機会となりました。生徒からも、モニターを通してダイレクトに話しができた、ネイティブ英語を体感できた、コミュニケーションの方法を考えるきっかけになった、異文化に興味を持ったなど、数多くの成果を得ることができました。